

プレスリリース

2026年3月

茨城県笠間市笠間978-4

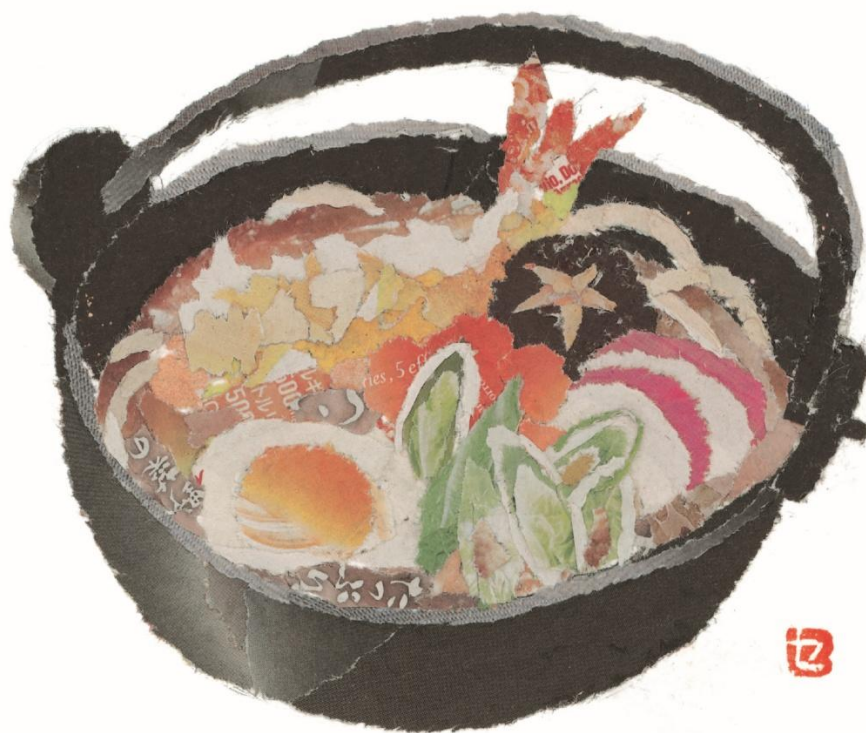
公益財団法人 日動美術財団

笠間日動美術館

97歳セツの新聞ちぎり絵 原画展

Kimura Setsu Newspaper Chigiri-e

2026年4月18日(土)-7月20日(月・祝)



《鍋焼きうどん》2025年 (C) Setsu Kimura

拝啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。来春、表記展覧会を開催いたします。つきましては、以下に展覧会の詳細をご案内いたしますので、ご取材・ご紹介などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。敬具

■開催趣旨

熱々の鍋焼きうどんや、青々とした梅がたくさん詰まった梅酒、カラッと揚げた海老フライ。今年で97歳になる木村セツさんは、90歳からちぎり絵制作をはじめました。身近な品々を題材に、日々コツコツとちぎり絵作品の制作を続けています。その緻密さと写実性は新聞からできているとは思えないほどです。どの作品も生き生きとして、温かみと遊び心に溢れています。本展覧会は、最新作を含める180点余りを展示、関東圏初の大規模展となります。セツさんの言葉や写真と共に、お楽しみください。

■展示構成

【第一会場】

第一章 おいしいちぎり絵

セツさんの作品の大半を占めるのが食べ物。こだわりの朝食や、喫茶店を営んでいたころの人気メニューがユーモアたっぷりのちぎり絵に。温度や匂いまでも感じさせる作品たちを見ているとおなかが減ってきてしまうかもしれません。



【第二会場】

第二章 暮らしとちぎり絵

愛猫のフクちゃん、そして旦那さんとの思い出。身近なものを題材とするちぎり絵からはセツさんの人生がにじみ出ています。



第三章 季節とちぎり絵

正月飾りから季節の花々、クリスマスツリーまで、四季折々の作品を展示します。移り変わって行く季節を慈しむことの大切さを思い出させてくれます。

第四章 家族とちぎり絵

セツさんがご家族との掛け合いをしながら、ちぎり絵ができるまでを記録した映像をご覧ください。デザイナーである娘幸子さんによるセツさんの似顔絵、イラストレーターで漫画家の孫いこさんとのコラボ絵本など、ものづくりを楽しむご家族の作品も展示。木村家の団らんに胸が温かくなります。



《ジャムトースト》2021年

《いたずら猫のフクちゃん》2022年

《カタツムリ》2019年

(C) Setsu Kimura

◇木村セツ

1929年1月7日奈良県桜井市生まれ。3人の子供を育てながら、養鶏、喫茶店、農業などの仕事に励む。2018年末に夫が他界。2019年元旦(当時90歳)から長女の勧めでちぎり絵を始める。同年5月に孫がTwitter上で投稿したのをきっかけに注目される。現在インスタアカウントのフォロワーは7万人を超えている(2026年1月)。既刊に『90歳セツの新聞ちぎり絵』『96歳セツの新聞ちぎり絵 まいにち日めくり』(里山社)、イラストレーターで漫画家の孫、木村いこのコラボ絵本『おてがみであいましょう』(理論社)などがある。

展覧会概要

■97歳セツの新聞ちぎり絵 原画展

会 期：2026年4月18日(土)-7月20日(月・祝)

会 場：笠間日動美術館 企画展示館（茨城県笠間市笠間978-4）

開館時間：午前9時30分より午後5時（入館受付は午後4時30分まで）

休 館 日：毎週月曜日（但し5月4日(月)～6日(水)は開館、5月7日(木)は休館、7月20日(月)は開館）

入 館 料：大人 1300 円、65 歳以上 1000 円、大学・高校生 900 円、中学生300円、小学生 無料

20 名以上の団体は各 200 円割引 障害者手帳をお持ちの方、その同伴者 1 名は半額割引

主 催：公益財団法人日動美術財団 笠間日動美術館

特別協力：合同会社里山社

後援予定：茨城県／茨城県教育委員会／笠間市／笠間市教育委員会／東日本旅客鉄道株式会社水戸支社

茨城放送／朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／共同通信社水戸支局／産経新聞社水戸支局

東京新聞つくば支局／毎日新聞社水戸支局／読売新聞水戸支局

担 当：学芸部 大友 otomo@nichido-museum.or.jp 金澤 kanazawa@nichido-garo.co.jp

■会期中のイベント

◇学芸員によるフランス館ギャラリートーク

日 時：5月16日(土) 14時から30分程度 会 場：フランス館2F 常設展示室

◇ちぎり絵をつくってみよう！

90歳からちぎり絵制作を始め、現在も身近なものを題材に新聞から作品を生み出しているセツさん。新聞やのりなど手頃な材料ですぐ始める事ができます。セツさんの作品を参考に新聞ちぎり絵を作ってみましょう。テーマは自由です。ご自宅に新聞紙がある場合はお持ちください。

日 時：6月6日(土)10時～1時間半程度

会 場：企画展示室2階中央ホール

定 員：10名程度

参加費：材料費500円

※お電話にて一週間前までにご予約下さい。

◇笠間日動美術館×茨城新聞社

しまんと新聞ばっぐをつくってみよう！

四万十川のほとりで誕生した「しまんと新聞ばっぐ」は、新聞紙とのりだけでできています。一人のおばあちゃんもったいない精神と折り紙から着想を得てレンピを考案したといいます。その歴史は新聞紙を使ってちぎり絵を制作するセツさんの姿と重なります。たった15分～20分で誰でも簡単につくれる「しまんと新聞ばっぐ」。展覧会をごらんになったあとに無料で体験していただけます。

日 時：4月25日(土)、5月23日(土)、6月13日(土)

各日10時30分～15時の間、好きなお時間にご参加ください。(制作時間の目安は15分～20分)

会 場：エスパス日動(笠間日動美術館駐車場内)

参加費：無料。ただし笠間日動美術館当日券をお持ちのお客様限定。

■同時期開催

北大路魯山人館蔵名品展

会 期: 2026年3月7日(土)~5月10日(日)

第一会場: フランス館1階 長谷川仁・林子記念室

第二会場: 分館 春風萬里荘(北大路魯山人旧居)

この春放送のNHKドラマ「魯山人のかまど」のロケ地として使用されました。

所在地 茨城県笠間市下市毛1371-1

電話番号 0296-72-0958

静謐なる革命 女性画家たちの100年

会 期: 2026年5月16日(土)~7月26日(日)

会 場: フランス館1階 長谷川仁・林子記念室

■交通案内

【JR利用】

- ・水戸線笠間駅より2km、徒歩30分、レンタサイクル約10分
- ・かさま周遊バスという笠間市内を周遊しているバスがございます。詳しくは観光協会HPへ。

【自動車利用】

- ・常磐道友部JCT経由、北関東道友部ICより国道355号線経由約6km
- ・東北道栃木都賀JCT経由、北関東道笠間西ICより国道50号線経由約8km

以上

公益財団法人 日動美術財団

笠間日動美術館

〒309-1611 茨城県笠間市笠間978-4

TEL 0296-72-2160 Fax 0296-72-5655

HP <https://www.nichido-museum.or.jp/>